



2024 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年11月21日～ 2024 年11月20日)



発行日: 2025年1月30日
更新日:

目 次

項 目	ページ
経営方針・環境経営方針	3
組織の概要	4
事業の紹介	4
有資格者情報	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9



ダイセイ美建株式会社 経営方針

- (1) 優秀なる作業員を常時派遣し、責任ある作業の実施
- (2) 御得意様に御満足頂ける作業を逐し信頼を得る
- (3) 親和協力・誠実奉仕・即時実行を旨とする

環境経営方針

<環境経営理念>

昭和48年の創業以来、当社は、清掃・警備・設備管理等のビルメンテナンスを本業とし、お客様に満足していただくことを目指して事業を展開して参りました。

お客様に喜んでいただける価値あるサービスを提供し、企業としての社会的責任を果たしていくためにも、本業を通じて環境・社会に配慮した活動に自主的・積極的に取り組んで参ります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連の法規制や当社が社会に約束したことを遵守します。
2. 電力および燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制、分別、およびリサイクルに努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. 環境や安全に配慮した製品・サービスの購入に努めます。
6. 地域社会への貢献活動に努めます。

この環境経営方針を全社員に周知し、継続的に改善活動に取り組めます。



制定日：2017年10月1日
改定日：2024年4月1日
代表取締役社長 太田 周平

□組織の概要

更新日： 2024年10月1日

(1) 名称及び代表者名

ダイセイ美建株式会社
代表取締役社長 太田 周平

(2) 所在地

本 社 大阪市天王寺区悲田院町8-11
倉 庫 大阪市市東住吉区桑津5-29-2
現 場 ビル、工場、学校、病院等

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 古川 保 TEL: 080-5337-4764
担当者 管理部 藤田 昌宏 TEL: 090-1907-8847

(4) 事業内容

ビルメンテナンス業

(5) 事業の規模

売上高		399	百万円	(2024 年度)	
		本 社	現場	倉庫	合計
従業員	名	3 名	69 名	0 名	72 名 (換算人数 42名)
延べ床面積	m ²	50 m ²	- m ²	17 m ²	67 m ²

(6) 事業年度 11 月 21 日 ~ 11 月 20 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： ダイセイ美建株式会社
対象事業所： 本 社
 倉 庫

対象外： なし
活動： ビルメンテナンス業

□事業の紹介

■設備管理業務



■建築物・飲料水貯水槽清掃業務



■特定労働者派遣業務



■保安警備業務



■建築物環境衛生総合管理業務



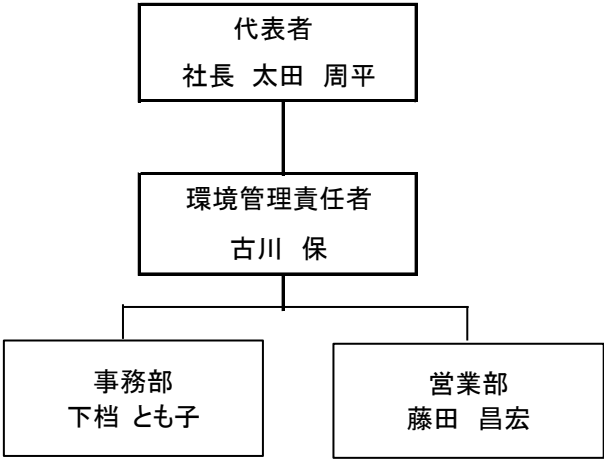
■その他・・・内装仕上工事及び造園工事業務

□有資格者

建築物環境衛生総合管理業務		設備管理業務	
建築物環境衛生管理技術者	5名	第3種電気主任技術者	3名
ビルクリーニング技能士	7名	第一種電気工事士	6名
建築物飲料水貯水槽清掃業務		第二種電気工事士	5名
貯水槽清掃作業監督者	4名	第三種冷凍機械	5名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	2名	一級ボイラー技士	3名
警備業務		二級ボイラー技士	6名
警備員指導教育責任者	2名	消防設備士	6名
施設警備業務2級	4名	建築業	
		2級建築施工管理技士	5名

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2024年10月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局 (事務部、営業部)	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量※	kg-CO ₂	13,465	14,348	13,155
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	48	48	48
産業廃棄物排出量	kg	250	0	250

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO2/kWh 関西電力の調整後係数(2021年)

□環境経営目標及びその実績

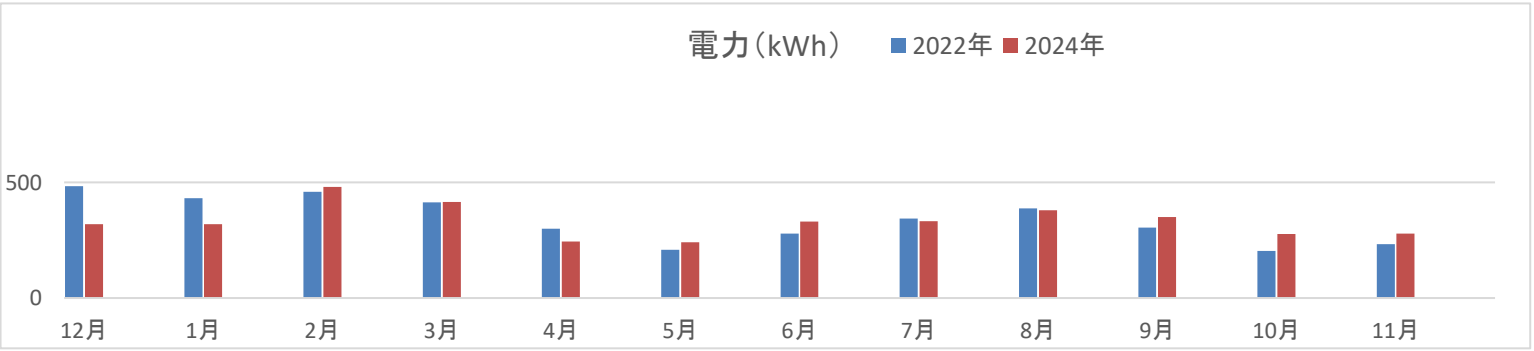
年 度 項 目		基準値	2024年		評 価	2025年	2026年
		(基準年2022年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,258	1,245	1,234	○	1,239	1,239
	基準年度比	—	99.0%	98.1%		98.5%	98.5%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	12,207	12,146	11,921	○	12,085	12,024
	基準年度比	—	99.5%	97.7%		99.0%	98.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	13,465	13,391	13,155	○	13,324	13,263

- ・ 廃棄物削減については、産業廃棄物の発生は排出ゼロを維持、一般廃棄物は発生量が非常に少ないため、これ以上の削減は見込めないので、現状より増加しないよう注意している。
- ・ 水使用量は、ビルの1室を借りており、水回りは共用で使用量が把握できず、啓蒙的取り組みを実施。
- ・ 本業での環境配慮としては、環境に配慮された洗剤や容器を使用している。

□環境経営計画の取組結果とその評価

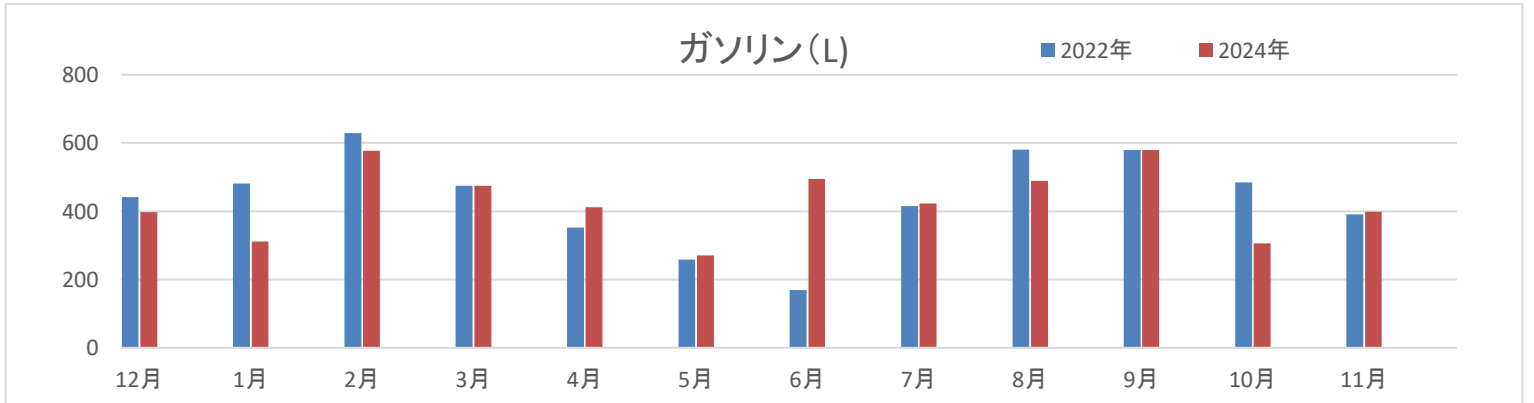
数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	2023年度の使用量3,768kWhに比べ2024年度は3,967kWhの使用量と199kWと増加しましたが、今後も照明や空調機等の節電に務めます。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・空調フィルターの定期的清掃	○	



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	484	431	459	414	299	208	279	343	387	304	203	233
2024年	320	320	480	415	244	241	330	332	379	350	277	279

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	2023年度は5,675ℓの使用量に比べ2024年度5,135ℓの使用量という結果で、540ℓ削減出来ました。今後もエコドライブの励行や適正な車両整備等を行い燃料の削減に努めます。
・アイドリングストップなどエコドライブの励行	○	
・タイヤの空気圧(適正值)を定期的に確認	○	
・効率的なルート进行	○	
・適正な車両整備	○	



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	442	482	630	474	352	258	169	415	581	580	485	390
2024年	398	312	577	474	412	271	495	423	489	580	306	399

その他の取組み
一般廃棄物の削減・・・両面印刷や裏紙活用など紙使用量の削減などを推進しています。
環境・安全に配慮したサービス・・・PRTR不使用やシックフリーの洗剤を使用しています。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、金属屑、木屑等）等が数年に一度発生。
フロン排出抑制法	業務用空調機（本社事務所）の簡易点検実施
自動車 NOx・PM法	対象地域内で、排ガス規制適合車の使用(小型貨物2台)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部から寄せられた環境上の苦情・要請等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

2024年度は実施していません。2025年度に実施を計画しています。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年11月25日

下記事項を踏まえて、この1年を総括し、今後の取り組みについて代表者の考えを述べる。

- ・目標・計画の達成状況 売上が前年度比15.4%減少に対し、燃料の使用量が9.5%の削減、電力が5.3%の増加となった。売上高減は外注先への減少分であり、それを除く事業活動あたりの二酸化炭素排出量は概ね前年度レベルを維持できた。今後も継続して活動する。
- ・組織を取り巻く経済環境 人出不足が常態化している現況下であっても、日常の仕事に支障をきたさないように努める。
- ・組織の課題とチャンス 資格取得等計画的な人材育成を図る。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

代表取締役社長 太田 周平

～私たちと一緒に笑顔で働く仲間をお待ちしています～

